

第3期（令和4年度～令和8年度）

# 伊勢市教育振興基本計画

ダイジェスト版

令和4年3月

伊勢市教育委員会

# 伊勢市教育大綱

## 《基本理念》

### 郷土を愛し、夢と意欲を持ち未来を切り拓く人づくり

将来予測がますます困難となる時代を生き抜く子どもたちが、変化を前向きに受け止め、他者とともに支えあいながら、自らの夢や志を持って可能性に挑戦し、未来を切り拓こうとする心豊かでたくましい子どもに育っていくことが、地域社会全体としての願いです。

そのために、持続可能な開発目標(SDGs)の「誰一人取り残さない」という考え方を踏まえて、すべての子どもたちの個性を尊重しながら、学習やスポーツ、文化的な活動や社会的な体験活動などに、安心して意欲を持って打ち込むことができるような学習環境を整えていくことが、これからの伊勢市の教育に求められているものと考えます。

また、人生100年時代を見据え、教育の重要性はますます高まっており、生涯にわたって「いつでも、どこでも、何度でも」学べる環境づくりや、持続可能な社会の実現に向け、社会や地域で学習の成果を発揮し活躍できる機会づくりが求められています。

さらに、地域の自然・文化・歴史に対する理解を深め、郷土を愛し、誇りに思う心を醸成して、地域の活性化及び伊勢市の将来を担う人材の育成を図っていくことも大切です。

伊勢が最高の学び場、活躍の場となるためには、学校、家庭、地域や企業、市が相互に連携、協力し、一体となって取り組む必要があります。

このようなことから、伊勢市の目指す教育の基本理念を「郷土を愛し、夢と意欲を持ち未来を切り拓く人づくり」として、その実現のため、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症を受けた教育環境等の変化を踏まえながら、次の6つの項目を基本目標として取り組んでまいります。

## 《基本目標》

- 1 子どもたちの生きる力の育成
- 2 誰一人取り残さない教育の推進
- 3 生涯学び、活躍できる環境づくり
- 4 スポーツの振興
- 5 文化の継承・振興
- 6 地域総がかりの教育体制による安全・安心で充実した教育環境づくり

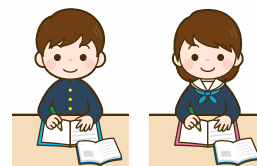
「基本理念」「基本目標」を踏まえ、次の9の「基本施策」と25の「施策」を、本計画における取組の基本方針とします。

## 基本施策 1 確かな学力と社会を形成する力の育成

### (1) 学力の育成

#### 【主な取組】

- ☆学習指導要領の着実な実施
- ☆子どもたちの学習における状況把握と授業改善の取組の推進
- ☆ GIGA スクール構想の推進
- ☆学校・家庭・地域と連携した取組の推進



#### 【数値目標（※1）】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
目標基準準拠検査（※2）の国語において、小学校は「十分満足」「おおむね満足」に該当する評定となった児童の割合、中学校は「十分満足できるものうち特に程度が高い」「十分満足」「おおむね満足」に該当する評定となった生徒の割合（※3）	84%	92%	96%	小学2年生
	88%	87%	95%	小学3年生
	79%	86%	90%	小学4年生
	82%	87%	87%	小学5年生
	83%	89%	90%	中学1年生
	81%	86%	90%	中学2年生
目標基準準拠検査の算数・数学において、小学校は「十分満足」「おおむね満足」に該当する評定となった児童の割合、中学校は「十分満足できるものうち特に程度が高い」「十分満足」「おおむね満足」に該当する評定となった生徒の割合（※3）	86%	92%	95%	小学2年生
	91%	84%	96%	小学3年生
	83%	83%	87%	小学4年生
	80%	83%	87%	小学5年生
	67%	74%	85%	中学1年生
	77%	81%	85%	中学2年生
「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（文部科学省）（※4）において、「できる」と回答した教員の割合	44.3%	47.6%	80.0%	
普通教室（普通学級・特別支援学級）及び特別教室における電子黒板の設置率	38.8%	55.7%	100%	

※1：令和2年度（2020年度）の実績値は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている可能性があるため、令和元年度（2019年度）の実績値も併記（以下の施策についても同様）。

※2：学習指導要領に示された目標をどれだけ達成したか、目標にどれだけ近づいたかを評価する学力検査

※3：目標基準準拠検査の結果は整数で算出されるため整数表記

※4：「教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力」「授業にICTを活用して指導する能力」「児童生徒のICT活用を指導する能力」「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」からなる。

## (2) グローバル教育の推進

### 【主な取組】

☆小中学校における英語教育の推進

☆ ALT（※1）との交流による国際理解教育の推進

※1：ALT（Assistant Language Teacher）日本人教師を補佐し、  
生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人を指す。



### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合（※1）	42.8%	43.7%	52.5%	
ALTとの夏季休業中等における児童生徒の交流事業及びALTによる教職員対象の校内研修の実施日数（年間）（※2）	—	—	9日	

※1：中学3年生全体の人数に対する、英検3級以上を取得している生徒数と実際に英検3級以上は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒を合わせた生徒数の割合

※2：ALTが平素の学校における授業や行事で子どもたちと関わる以外に、夏季休業中等に教育委員会主催で実施するALTと児童生徒との交流事業、ALTを活用した教職員の指導力向上に向けた校内研修会（小学校）の実施日数

## (3) 主体的に社会を形成する力の育成

### 【主な取組】

☆社会参画力の向上

☆社会の形成者として行動する力の育成

☆実社会で必要とされる力の育成

☆SDGsに関する取組



### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合。（※1）	56.4%	64.3%	68.0%	小学校
	42.9%	65.0%	66.0%	中学校

※1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

## (4) キャリア教育の推進

### 【主な取組】

- ☆キャリア教育の推進（職場体験学習の推進）
- ☆体験的活動の充実



### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
職場体験学習が進路や将来について考える機会となった生徒の割合（※1）	90.7%	（※3）	92.0%	
小学校において職場見学や職場体験を行った学校の割合（※2）	78.3%	60.9%	100%	

※1：中学校の職場体験学習終了後に生徒にとったアンケートで「あなたにとって、この職場体験学習は、進路や将来について考える機会になりましたか」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合。

※2：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において、「職場見学や職場体験活動を行っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の小学校の割合。職場見学や職場体験活動については、小学校においては、社会科や総合的な学習の時間等における見学や体験活動を意味する。

※3：令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、職場体験学習は中止となった。

## (5) 幼児教育の推進

### 【主な取組】

- ☆小学校への円滑な接続
- ☆実践的研究の推進
- ☆関係機関との連携



### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
小学校教員の幼稚園・保育所・認定こども園での保育体験（参観）をした小学校数	10校	6校	14校	

## 基本施策 2 豊かな心の育成

### (1) 人権教育の推進

#### 【主な取組】

- ☆人権教育の充実と推進
- ☆中学校区における人権教育の推進
- ☆平和に関する教育の推進



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合（※ 1）	81.6%	78.4%	85.0%	小学校
	77.9%	79.3%	82.5%	中学校
保護者や地域を対象とした人権に関する授業公開や研修会を行った小中学校の割合（※ 2）	93.9%	12.1%	100%	

※ 1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において、「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

※ 2：「人権教育実態調査」（三重県教育委員会）において、「保護者や地域への授業公開や研修会を実施した」と回答した伊勢市の小中学校の割合

### (2) 道徳教育の推進

#### 【主な取組】

- ☆考え、議論する活動を通じた道徳性の育成
- ☆家庭や地域等との連携を通じた体験活動の充実



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（※ 1）	95.5%	92.9%	95.5%	小学校
	94.8%	95.0%	95.5%	中学校
友達と協力するのは楽しいと思う児童生徒の割合（※ 2）	95.0%	93.8%	94.0%	小学校
	94.7%	93.5%	94.0%	中学校

※ 1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

※ 2：各年度の数値についてはそれぞれ以下のとおり。

\* 令和元年度：「人権感覚あふれる学校づくり意識調査」（伊勢市教育委員会）において「みんなで何かをするのは楽しい」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合

\* 令和 2 年度：「学校や生活についてのアンケート」（三重県教育委員会）において「学級のみんで協力して何かをやり遂げ、うれしかったと思う」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合

\* 令和 3 年度～：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「友達と協力するのは楽しい」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合

### (3) 郷土教育の推進

#### 【主な取組】

- ☆地域教材の開発と活用
- ☆地域と連携した郷土教育の推進
- ☆社会教育分野との連携



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
地域の自然や歴史、文化、伝統行事等に関する学習を行っている小中学校の割合（※1）	78.8%	84.8%	100%	

※1：「みえ県民ビジョン及び三重県教育ビジョンの目標指標の進捗状況等に関する調査」（三重県教育委員会事務局）において「地域の自然や歴史、文化、伝統行事等に関する学習を行っていますか」という質問に対して、「行っている」と回答した伊勢市の小中学校の割合。

### (4) 読書活動・文化芸術活動の推進

#### 【主な取組】

- ☆学校図書館活動の充実
- ☆読書大好キッズの推進
- ☆読書機会の充実
- ☆文化や芸術にふれたり、表現したりする機会の充実



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
授業時間以外に読書をする児童生徒の割合（※1）	67.4%	60.4%	68.0%	小学校
	50.1%	45.8%	53.0%	中学校

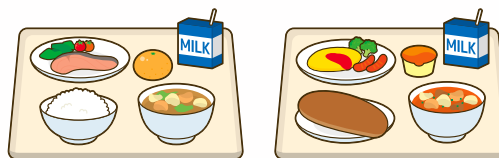
※1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「学校の授業以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）」という質問に対して、「10分以上する」と回答した伊勢市の児童生徒の割合。

## 基本施策3 健やかに生きていくための身体の育成

### (1) 健康教育・食育の推進

#### 【主な取組】

- ☆健康教育の充実
- ☆関係機関との連携
- ☆食に関する指導の推進
- ☆学校給食の充実



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
学校医・学校歯科医・学校薬剤師と連携した学校保健委員会を開催している学校の割合（※1）	100%	87.0%	100%	小学校
	90.0%	70.0%	100%	中学校
毎日朝食を食べている児童生徒の割合（※2）	96.1%	92.9%	98.0%	小学校
	93.9%	90.9%	95.0%	中学校
学校給食における地場産物を使用した割合（※3）	47.5%	38.2%	48.0%	

※1：「学校保健委員会の設置状況等調査」（三重県教育委員会）において「参加者に学校医・学校歯科医・学校薬剤師が含まれた学校保健委員会を開催した」と回答した伊勢市の小中学校の割合。

※2：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「朝食を毎日食べている」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

※3：三重県産の食材を地場産物とし、食材数を基本に計算した割合。

### (2) 体力・運動能力の向上

#### 【主な取組】

- ☆体力・運動能力の向上
- ☆地域人材の活用



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
体力テストの総合評価が「A」「B」「C」の児童生徒の割合（※2）	70.9%	（※1）	75.0%	小学校
	81.4%		85.0%	中学校

※1：令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国体力・運動能力、運動習慣等調査は中止となった。

※2：「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（スポーツ庁）における総合評価が、「A」・「B」・「C」・「D」・「E」の5段階のうち上位3段階である「A」・「B」・「C」の伊勢市の児童生徒の割合



## 基本施策 4 特別支援教育の推進

### (1) 特別支援教育の推進

#### 【主な取組】

- ☆特別支援教育の推進
- ☆特別な支援を必要とする子どもの就学への支援
- ☆特別な支援を必要とする子どもへの就学奨励

#### 【数値目標】

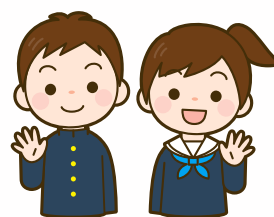
成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
小中学校の通常の学級において「個別の指導計画」を作成した学校の割合	—	—	100%	
校内委員会を年 4 回以上開催した学校の割合	78.3%	91.3%	100%	小学校
	40.0%	80.0%	100%	中学校

## 基本施策 5 安全で安心な教育環境づくり

### (1) いじめや暴力のない学校づくり

#### 【主な取組】

- ☆指導体制の充実
- ☆いじめの実態把握と組織的な対応の推進
- ☆相談体制の充実



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考える児童生徒の割合 (※ 1)	97.8%	96.3%	100%	小学生
	97.6%	95.8%	100%	中学生

※ 1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

## (2) 学校安全に関する取組の充実

### 【主な取組】

- ☆学校安全に関する取組の充実
- ☆防災ノートを用いた防災学習の充実
- ☆防災・防犯等の危機管理体制の整備
- ☆通学路の安全確保



### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
「家庭」や「地域」と連携した防災の取組実施の小中学校の割合（※1）	97.0%	66.7%	100%	

※1：「学校防災取組状況調査」（三重県教育委員会）において「家庭や地域と連携した取組をした」と回答した伊勢市の小中学校の割合

## (3) 不登校児童生徒への支援

### 【主な取組】

- ☆誰もが安心して学ぶことができる学校・学級づくりの推進
- ☆学校内外の教育相談・支援体制の充実
- ☆子どもの心の理解や教育相談に関する教職員の専門性の向上

### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
小中学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数（※1）	4.0人	5.9人	3.3人	小学校
	33.6人	26.8人	24.1人	中学校
学級集団や個人の状況を客観的に見ることができるアンケートツールにおいて満足群に属する児童生徒の割合（※2）	72.0%	67.8%	70.0%	小学校
	70.0%	69.9%	72.0%	中学校

※1：伊勢市の小中学校の児童生徒1,000人あたりの不登校児童生徒数。本調査における不登校児童生徒とは、年度内に連続または断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、「不登校」を理由とする者をいう。

※2：「第2回WEBQUアンケート（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）」において小学校は6年生、中学校は3年生の満足群に属する児童生徒の割合。

## (4) 経済的理由により就学困難な家庭に対する支援

### 【主な取組】

- ☆就学援助費の支給
- ☆奨学金の支給

### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
経済的理由を要因とした長期欠席の児童生徒数（※1）	0人	0人	0人	

※1：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」（文部科学省）において経済的理由を長期欠席の要因とした伊勢市の児童生徒数。

## 基本施策 6 信頼される学校づくり

### (1) 地域とともにある学校づくり

#### 【主な取組】

- ☆地域とともにある学校づくりの推進
- ☆地域人材活用の推進



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
教育支援ボランティア・学校安全ボランティア登録者数	841人	794人	880人	

### (2) 教職員の資質向上とコンプライアンスの推進

#### 【主な取組】

- ☆教職員研修講座の充実
- ☆若手教員の実践的指導力の向上に向けた研修の充実
- ☆教育研究支援
- ☆教育資料の提供
- ☆校内でのコンプライアンス研修の支援・充実



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
課題の解決に向けて、自分で考え自分で取り組んでいると感じる児童生徒の割合(※1)	79.2%	74.2%	80.0%	小学生
	77.9%	75.0%	80.0%	中学生
校内研修の成果を公開授業等で発信した小中学校の割合(※2)	27.3%	18.2%	40.6%	
研修講座等への延べ参加人数	1,688人	864人	2,100人	
校内でコンプライアンス研修を実施した小中学校の割合	—	—	100%	

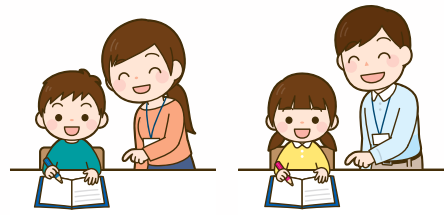
※1：「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）において、小学6年生では「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分で取り組んでいたと思いますか」、中学3年生では「1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分で取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした伊勢市の児童生徒の割合。

※2：公開授業等の対象は、市内全小中学校が参加できる規模以上のもの。

### (3) 教職員が働きやすい環境づくり

#### 【主な取組】

- ☆総勤務時間縮減に向けた取組
- ☆専門スタッフや外部人材等の活用
- ☆教職員の健康管理対策とメンタルヘルス対策



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
学校安全衛生委員会を2回以上開催した小中学校の割合	—	—	100%	
在職者に占める精神神経系疾患による休職者の割合	0.15%	0.23%	0.2%以下	

### (4) 教育環境の整備・充実

#### 【主な取組】

- ☆施設・設備の長寿命化と教材備品の充実
- ☆給食施設・設備の充実と給食提供体制の確保



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
学校施設の不具合により学校生活に支障をきたした件数	0件	0件	0件	

### (5) 小中学校の適正規模化・適正配置

#### 【主な取組】

- ☆小中学校の適正規模化・適正配置の推進

#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和8年度	備考
適正規模を満たす学校の割合 (※1)	39.1%	34.8%	計画を策定し、 実施しています。	小学校
	30.0%	20.0%		中学校

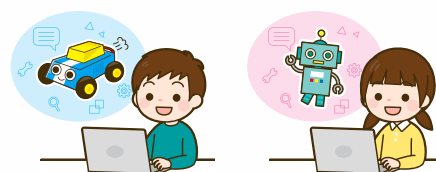
※1：伊勢市小中学校適正規模化・適正配置基本計画で定める適正規模を満たしている学校の割合

## 基本施策 7 社会教育の推進

### (1) 学習機会と学習環境の充実

#### 【主な取組】

- ☆学習機会の充実
- ☆地域課題解決学習の推進
- ☆学習環境の整備



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
社会教育施設の稼働率(※1)	33.9%	24.2%	35.0%	
リモート(オンライン)で受講できる講座数(※2)	—	—	30 講座	
市民 1 人あたりの図書館(※3) 利用回数及び図書貸出冊数	3.2 回	2.2 回	3.5 回	利用回数
	5.7 冊	4.9 冊	6.2 冊	貸出冊数

※1：いせトピア、二見生涯学習センター、二見公民館、小俣公民館、御菌公民館及び小俣農村環境改善センターの稼働率(利用コマ数/年間コマ数計)。

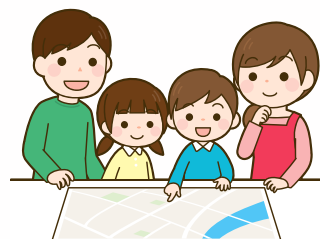
※2：社会教育課が所管する施設で実施する公民館講座や生涯学習講座

※3：伊勢図書館、小俣図書館、分室(13 施設)

### (2) 地域・家庭の教育力の向上

#### 【主な取組】

- ☆家庭教育に対する支援
- ☆子ども読書活動の推進
- ☆関係団体等との連携



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
家庭教育を支援するための講座数及び参加人数	3 講座	3 講座	12 講座	講座数
	61 人	16 人	120 人	参加人数
子ども(※1) 1 人あたりの図書館(※2)における児童書の貸出冊数	14.6 冊	12.6 冊	17.9 冊	

※1：0 歳から 18 歳までを指す

※2：伊勢図書館、小俣図書館、分室(13 施設)

## 基本施策 8 青少年の健全育成

### (1) 青少年の健全育成

#### 【主な取組】

- ☆青少年健全育成関係団体との連携
- ☆青少年相談センター活動の推進



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
青少年健全育成協議会と連携した研修会等の参加人数	—	—	200 人	
街頭指導 1 回あたりの指導を受けた少年数(※ 1)	1.0 人	1.1 人	0.8 人	

※ 1：青少年が集まりやすい繁華街等で実施する中央街頭指導における人数。

## 基本施策 9 スポーツの推進

### (1) スポーツの推進

#### 【主な取組】

- ☆スポーツ活動の充実
- ☆スポーツ関係団体の連携・強化
- ☆スポーツ施設の利便性の向上



#### 【数値目標】

成果指標	令和元年度	令和 2 年度	令和 8 年度	備考
週 1 回以上のスポーツ実施率(※ 1)	44.6%	39.8%	50.0%	
総合型地域スポーツクラブの会員数	3,662 人	3,241 人	3,800 人	
主要なスポーツ施設の稼働率(※ 2)	77.5%	76.9%	80.0%	

※ 1：伊勢市市民アンケートにおいて、「日常生活の中でどのくらい意識してスポーツを行っていますか」という質問に対して、週 1 回以上と回答をした市民の割合。

※ 2：伊勢フットボールヴィレッジ人工芝グラウンド、倉田山公園野球場、市営庭球場、小俣総合体育館、御園 B&G 海洋センター体育館、二見グラウンドの稼働率





伊勢市

【お問い合わせ】

伊勢市教育委員会事務局 教育総務課

電話 0596-22-7875 FAX 0596-23-8641

E-メール [kyo-soumu@city.ise.mie.jp](mailto:kyo-soumu@city.ise.mie.jp)